

第13回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称	第13回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 教育活動・学校事務部会
開催日時	令和7年7月28日（月） 午後7時から
開催場所	明智文化センター 大集会室
報告	前回までの協議について
協議	課題番号16 教育課程、教育内容に関すること 課題番号17 学校行事に関すること 課題番号23 予算計画に関すること
その他	次回の教育活動・学校事務部会について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 平林 道博 夏目 裕行 加藤 淳 鈴木 真弓 安藤 耕介 片桐 宣伸 後藤 琢磨 深谷 友康 近藤 晃幹 加藤 哲也 松下 貴恵 梶屋 明広 細江 美和 土屋 健太郎 鈴木 直樹 佐藤 美保 増田 尚子 教育委員会 郷田 賢 石原 聖子 小木曾 健太 水野 雄午 三宅 勝義
会議の内容	会議録のとおり

- 副部会長 恵那南地区統合中学校準備委員会教育活動・学校事務部会をはじめさせていただきます。よろしくお願いします。初めに部会長あいさつ。
- 部会長 みなさんこんばんは。学校の建築現場であります山岡中学校は、いま夏休みに入ったので、生徒がいないこの時期に工事を一気に進めたいということで、外壁を足場やフェンスで囲み、入り口は狭い一か所で、よく探さないと分らないところにあります。木造建築の立派な校舎も出来上がりつつあります。私たち職員も夏休みに入ると、ゆっくりのんびりほっとするところですが、毎日、立て続けに工事の注文を受けるので、気が休まることがない一日です。ただ、物を作るというのは、専門の職人さんが体を動かしてくれれば、着実に進んでいきます。今日はみなさん、教育活動の内容のところを決めていただくわけですが、これは皆さんのご意見と合意を得て進んでいくしか進みようがないので、いよいよ時間が無くなってきました、今日のこの時間で大きく推進することを望んでいます。みなさん、どうぞよろしくお願いします。
- 副部会長 では、レジメに沿ってすすめさせていただきます。報告で前回までの協議について事務局説明をお願いします。
- 事務局 事務局の小木曾です。前回までの協議内容として、課題整理シートの進捗状況について確認させていただきます。前回の会議で決めなければいけないこと、決まっていること、あと何が残っているのかなどを整理する必要があるのではとご意見をいただきましたので、部会で協議する8つの課題の進捗状況等を表にまとめました。前回、各課題について説明をさせていただいていますので、かいつまんで報告させていただきます。表ですがお手物の資料で左から課題の番号、課題、協議事項、当初予定していた決定時期、ステータス、進捗、今後の予定になっています。順番に上から説明します。課題番号16ですが、協議事項③日課案の策定となっています。本日、協議していただくことになっています。ステータスとしては、現在進行中の課題となります。つづいて課題番号17ですが、修学旅行等の旅行的行事については協議を終えており、体育大会、合唱祭等主となる行事について協議が残っておりますので、今日、協議をしていただきます。こちらもステータスは進行中の課題となります。課題番号18です。最終的に生徒会メンバーの決定が最終的な協議事項なりますけど、こちらについては、各学校の生徒会が主体となって進めていくことになっていますので、現在、各校の生徒会が交流を行いながら進めています。進捗につきましては、次回の会議で報告できればと思います。課題番号19ですが、こちらについては実施するということで決定しています。令和5年度、令和6年度と実施済、令和7年度も実施予定で計画しております。こちらについては、ここで改めて協議をして新しいこと決めることはありませんので、こちらの課題については完了となっております。交流会の実施後に皆さんへ報告させていただきます。課題番号20です。処分方法の検討については決定しました。購入備品の検討については、皆様へお諮りしながら購入する備品はございませんでしたので、課題番号20につきましては、完了となっております。課題番号21ですが、図書館のコンセプトについて、皆さんのご意見を聞きまとめまして、現在図書室のレイア

ウトや蔵書について検討中で、これについては次回、皆様に確認いただければと考えています。こちらは進行中の課題となります。つづいて、課題番号 22 ですが、学校の歴史資料等の展示品や展示場所について、皆さんに協議していただき決定しておりますので、この課題につきましては完了しております。つづいて課題番号 23 になります。こちらは旅行積立金、学校徴収金等について協議するものになります。こちらについても、本日、協議が進めていければと考えております。こちらについては、進行中の課題となります。全部で 8 の課題について完了している課題は 3 つ、生徒会に関することについては、先ほど申し上げたとおり、学校の生徒が中心となって進めていきますので、こちらの部会で協議していくもので残っているものが、16 番、17 番、21 番、23 番の 4 つの課題になりますので、引き続き協議を進めていければと思います。以上になります。

副部長 何か質問等がございますか。では、早速協議に入ります。本日協議内容が 3 つありますので、スムーズに進めるよう留意しますが、皆様のご協力をお願いします。では、課題番号 16 教育課程等、教育内容に関することについて事務局説明をお願いします。

事務局 恵那南中学の日課でということで説明をいたします。事務局案でこういった願いを込めて日課表をまとめているかを示して欲しいとご意見をいただきましたので、そういったところを中心にお話をさせていただきます。共通して大事にしたいことは、話せる仲間と頼れる先生と楽しい学校生活を送ってほしいということで、静かに話を聞くだけの時間を少なくしながら、特に生徒同士が語り合い、活動する時間を多くしたい。また開校当初は、今まで慣れ親しんでいない生徒が集まって来ますので、そういったところで気軽に雑談のようなことができる時間を大事した日課でスタートしていきたいところが願いでございます。細かなところを少し説明させていただきます。そういった中で、我々としては、バスで遠方から来る子がいるわけですが、そうはいっても朝 7 時以降に家を出れば間に合うということで、6 時半くらいに家を出なければいけないとか、そういったことがない日課にしたいと考えました。バスがそういった所から 50 分以内には必ず到着できるということを考えた時に、いまのバスの到着が、7 時 50 分から 8 時 5 分の間で到着できるように調整が進んでいると聞いています。そこから逆算しますと、家を出てからバス停まで歩いて、そこからバスに乗ってというようなことを考えも 7 時以降のところで間に合うということで、7 時 50 分から 8 時 5 分の間でバス到着という日課で考えております。そういった中で、安全確保という意味で、生徒だけで早くから校舎を開けて過ごす時間をあまり作らないようにということで、開門時間を生徒たちに示して、あまり早く来ることをないようにしている学校が多くあります。それも含めて 7 時 50 分には校舎を開けるといことを生徒に示していこうと考えました。またバスの降車場から校舎までのところが、BG グランド辺りから少し歩いてくる時間もありますので、バス降りてからの移動時間で 5 分、そして教室への準備時間を 5 分くらいは確保する必要があるだろうということで、そこも含めて時間を考

えました。それが朝のスタートの時間となります。7時50分の開門から8時15分までの時間を一日の準備や雑談ができる、名前は仮でいれてありますが、フリータイムという時間としまして、8時15分までは遅刻とにならないですが、その時間を子どもたちが使って準備する子は準備し、気軽な雑談する子はして楽しい時間を生み出して行きたいと考えました。読書の時間を入れるのも考えられるんですが、自分の時間になってしまい、お話する時間がなくなってしまうので、朝の時間は話をする時間を取りながら、給食を準備する時間で読書の時間が取っていければと思っています。朝の会は時間を取れるといいんですが、終わりの時間との兼ね合いもあり、5分間で進め、大事なところを集約する形で考えました。このあたりの時間は開校後、生徒の様子を踏まえてストレスの少ない形に調整しながら、随時改定していきたいと考えています。朝の会が充実してきて時間が足りないようなことになってきたり、生徒の人間関係が築かれたときは、生徒の登校状況も見えてきますので、読書の時間やみんなで活動する時間であったり、場合によってはフリータイムを短くするようなことを検討しながら子どもたちにとってよりよい日課になってほしいと考えております。授業時間につきましては、50分×6時間を確保していく必要があります。帰りの会の前に恵南タイムという仮の名前ですが、生徒の状況に応じた取り組みを取り入れながら、子どもたち同士が気軽に話をしたりできる時間、場合によっては担任の先生も一緒になりながら人間関係をつくる時間にしていければと考えています。帰りの会も5分として、朝と同じ大事な連絡、大事な話から短時間で終われることを大事に考えております。帰りの時間ですが、生徒の安全確保のために季節に応じて明るいとき帰宅できる下校時間として、春から秋にかけては16時30分、冬時間は15時40分で考えています。いつから冬時間にするかはその時の状況で学校が判断して保護者へ周知し、ここではいついつまでが何時間とか決めずに進めたいと考えています。朝部活や延長部活、休日部活は行わない予定です。部活がある日でも下校バスは1便ですので、バスの利用者にはメディアスメースを開放して有意義に過ごせる環境を確保していきたいと考えています。徒歩で下校する生徒や保護者の迎えがある場合は下校してもよいとしており、全員が必ず残る必要がないと考えています。いま話をしました恵那南中学校の日課で大切にしたいことを踏まえた日課案を別紙に示しました。7時50分開門から8時15分までがフリータイム、朝の会があり、1時間目から4時間目、給食の時間、昼休み、5・6時間目、掃除の時間、恵南タイム、帰りの会、部活動・委員会・特別活動等、16時30分下校という日課になっています。朝の始まりの時間と終わりの時間が決まっていきますので、これだけの活動を位置づけることで、このような日課案を考えました。大切にしたいことと日課案を基本として、短縮日課などは開校後に学校現場で作成し、実態も踏まえて適宜調整していけばと学校へは提案をしていきます。以上になります。

副部会長 事務局から日課案について説明がありました。質問やご意見がありましたらお願いします。

- 委員 説明いただきましたが、今の説明では弱い気がします。なので、どうしてもやっぱり必要なことというのが、授業時間の50分はどうしても必要だということ。あとバスの時間、朝、なぜそうなったかというのを、もっとその強み、この学校統合の話があったときに、やっぱり遠いところから来る子の負担にならないようにとか、保護者からの意見とかがあったはずなんですよ。そこまでやっぱり言ったほうが強く伝わると思います。
- 部活に関してもなんですけど、部活という名目で使っていますけど、そのうちなくなるという説明とかもしたほうがいいし、部活を使わなきゃいけないというのは、やっぱり統合のときに部活動がたくさんしたいという意見があって、部活をとという話になっているんですけど、それもやっぱり説明して、だから部活という名前は使うんですけど、いずれ地域移行、クラブ活動のほうに大きな活動はもう移行しているので、部活動としての内容は、そんながつり、今のようイメージではないよというのをやっぱり説明はしたほうがいいと思います。なので、もうちょっと時間を取ってしっかり説明したほうが、すんなりいくとは思いますが。
- 帰りの時間も、やっぱりそのアンケートの中で、暗くなる前に帰してほしいという要望があったというふうに聞いているので、だからこの時間になっていますというのを説明の中で言えば、もうちょっとすんなり話が進むんじゃないか。その10月の説明のときに一発で、いいですというふうになるんじゃないかなと思いますけど。
- 副部長 ありがとうございます。
- 事務局 ありがとうございます。部活につきましては、今、お話があったように、今まで我々が経験してきたような部活動という形は、徐々になくなっていくそうなんですけれども、ただ、その学校で、やはりみんなでのイメージ的には、小学校のクラブ活動のような形をイメージしてもらったほうがいいかもしれませんけれども、そういった時間については確保されていくということで。はい。
- 委員 ある程度説明は聞いたんですけど、部活動、今のイメージだと3年間同じ部活動でというイメージでおったんですけど、そうじゃなくて1年ごとに、次はサッカー、次は陸上、次は読書とか、次は吹奏楽とかというように変えていけるというイメージの部活らしいので、最初は、部活動をとというアンケートを取ったので部活という名前を使っていますけど、そういう形をしますという、名前ばかりでどうなるか分からないですけど、そこまで説明したほうが、やっぱりすみません、僕もなんですけど、スポーツ科というか、その理事で携わっちゃっているんで、そういう人もほかにいるかもしれないから、そこら辺は説明したほうがいいかなと思います。
- 事務局 ありがとうございます。思い切ってここで部活というものを出さずに、違う名称で出そうかというふうに考えたんですけど、どちらのほうが伝わりやすいですかね。
- 委員 最初に部活動をとというふうにアンケートで取って、そのまま進んでいるのでと説明すればいいかなと思うんですけど、やっぱり最初の筋から外れちゃうとあ

まりよくない。そこだけ説明すればどうかなと思います。

事務局 ありがとうございます。

副部長 そのほかよろしいでしょうか。

委員 フリータイム——仮称ですけど、は、今の説明でよく分かったんですけど、帰りの会の前にある恵南タイムのイメージがちょっとよう分からなかったけど、具体的にはどんなようなことをどういう形で、学級単位ごとなのか、何か縦割りの地域割りみたいなやつなのか、自分が興味のある地区について何かやるのか、ちょっとそこらのイメージをもうちょっと説明してもらえませんか。

事務局 ありがとうございます。朝のフリータイムのところは、これは登校時間前ですので、全員そろっていない時間なんですけれども、帰りのこの恵南タイムのところは、一応全員がそろっている時間ということで、例えば、学級みんなで何かここでやりたいねということになったときには、そのところで取り組む時間というふうにしていけますし、そうではなくて、このところでみんなで、さっきお話をしたような雑談で盛り上がる時間というふうにしながら、最初はそういう時間を大事にしようよということは、なったときには、担任の先生がそこにいながら、様子を見ながら仲間づくりにつながるような時間にしていくようにして過ごしていくということで、地域のことを学んだりとかというふうなことではなくて、臨機応変に仲間づくりに使えるような時間として思っております。

ただ、これが、ひょっとしたら合唱祭が近づいてくる頃には、そうではなくて、歌の練習をここでやろうかといことになるかもしれません。

委員 はい、分かりました。

副部長 そのほかよろしいでしょうか。

委員 日課表について話し合うのが、これで3回目なんですけれど、やっぱりあの日課表の目玉といいますか、新しい恵那南中学校の日課として、どういう点が特徴的かと思うんですが、私が思うとは、1つは、例えば今出たフリータイムとか恵南タイムとかいうのが、よその学校にはなくて新しい試みだと思うんですが、しかし——それが1つと。

それから2つ目は、前回も話題になったんですけど、朝の会の5分というのが、果たしてこれ、前回に出たときに5つの学校のものが出たんですけど、5つの学校は現在10分やっていますね。15分やっているところもあるんですよ。それは朝の会、帰りの会を5分というのは無理だと思うんですけど、本当に5分の朝の会、帰りの会で、ここにあるような子供たちが気楽に話し合えたり、1日の目当てをいろいろ話し合ったりすることが可能かどうかちゅうことについては、疑問だということを前回も言ったんですけど、先ほどの話もそうですが、2回目までの話をきちっとまとめて整理して出すというふうに言われたんですけど、何か掃除のこともそうですね。もうきっちりした厳しい日課の中で、私たちが言う地域から見て、削るとしたらもう掃除しかないんですよ。50分授業は削れないと言われると、何を削るかと言ったらもう掃除ぐらいしかなくて、今現在5つの学校は、それぞれそんなに毎日掃除をやっていない学校は、

5つともやっていませんよ。それを何であえてまた毎日毎日掃除なんていうふうに出てくるのか、よく分からないんですが。

これも前回話したんですけど、前回の議事録が、この教育部会だけ作成されて、ホームページに載っていませんけど、それはどうしてですかね。

事務局 それは順番に作っていただいているので、別にここだけが作っていないということでは。

委員 いや、全てのところは載っていますよ。6月5日の総会の日にあったものは、総務部会も、もう、はい、7月には初めから出ていましたし、この部会だけ前回の会議録が出ていなくて、私は、前回話し合われたことを踏まえて話し合わない、また行ったり来たりで、3回目もうまくいかないんじゃないかなと思って聞くんですけど、議事録出ていませんよ、教育部会だけ。

事務局 特に教育部会だけ作っていないということは聞いていないので、こちらとしては、音声データのほうを録って——今もそうですけど、録って提出していますので、順に起案のほうを回しながら作っていただいておりますので。

委員 出ていないよ。

委員 今日の会議をやるときに、2回目までの会議を踏まえて今日の会議をやっていると、もう秋には説明会をやられるという話ですよ。

事務局 はい。

委員 例えば、仮称とか言っていますが、（仮称）フリータイムとか、（仮称）恵南タイムとか言っていますが、どこで正式名称が決まるんですか。今日決まらないですよ。

事務局 日課のこの込めた願いのところについては、この部会で協議をして、ご了解いただいて、その先のところにつきましては、最終的には新しい学校のスタンスが決まったところで最初決定をしていく、日課については中身だと思っておりますので、こういった時間を設けてほしいという願いを伝えていきたいと私は思ったんですけども。

委員 では、秋にある保護者の説明会なんかでも、（仮称）フリータイム、（仮称）恵南タイムという説明をするのですか。

事務局 そうですね。そういうふうに、こういう時間を設けますということで伝えていきたいと思っておりますけれども。

委員 いいですか。

事務局 はい、どうぞ。

部会長 今、朝の会の時間ですけど、うちはこれ10分でスタートしました。ところが、中身がやっぱり10分要らないという判断をしています。なぜなら、それほど10分間かけて話し合うことが今のところ見られないからです。逆にそれが先生の話ばかりが長くなって、子供たちは実につまらない時間にさせてしまっているというのを反省して、職員全体に投げかけました。

ちょっとこの時間を変えにやいかんよと言って、例えば10分間のうち5分間は、3年生は受験勉強を入れて、先生が塾の先生のようにして問題を出して対策したりしています。1・2年生は、読書の時間を少し長くして、多少短くし

ようかというような取組を考えています。今、実際の状況から見ると、大事な話は、朝は5分あれば十分だと私は考えています。

それから掃除の時間ですね。掃除の時間もここには入れているだけであって、これ掃除の時間を入れていないと、後から入れ込むことができないので入っているわけで、これが6時間目より後に入っていますね。多くの学校は昼休みの後に掃除を入れているところが多いんですけど、昼休みの後に掃除を入れると、掃除をカットしようとする、5・6時間目が動いてしまうんですね。10分前に動いてしまうと、子供たちの授業に対する感覚というか、動きが取りにくいので、あえて6時間終わった後に掃除を入れておいて、掃除をカットするときには、掃除をカットしやすいようにしてあるんです。だから掃除はカットします。でも、これ今の説明になかったのも、これを入れておいてもらいたいなと。掃除はもう自由にカットしたいと思います。

委員 前回の会議で後藤校長が言われた、日課と不登校がとても関係しているとかって言われたのを私は知りたかったので、前回の議事録を見たかったんですが。

部会長 そうでしょうね、はい。その話もさせてもらいます。不登校って、6年生までに不登校になった子は、なかなかそれは中学校になっても来れないです。でも、今、問題なのは、6年生までは普通にやっていて、中学校に入りました。ところが、中学校に入ってから不登校にだんだん増えていく子が増えています。どうしても出てきてしまいます。その大きな原因が朝だと思います。

以前は、朝というのは部活動があって、7時半頃にはもうぞろぞろとみんな来て、それぞれで活動して、ひとしきり動き、ひとしきりしゃべり、ひとしきりエネルギーを使って、朝の会、教室に入りました。だから、スタート時点からもうにぎやかだったんです。それを静かに1回させましょうと。だから読書を入れたり、朝の会の時間を10分取って、今日1日の目標を考えたり、そういうことで落ち着いてスタートするというのが、以前の学校スタイルだったんです。ところが、今、朝部活をやっているところはあまりありません。明智がふだんやっているかな。でも、うちの学校は山岡は今やっていません。

そうすると、どうなるかということ、朝がもうお通夜のように暗い。もっとしゃべればいいのにと言いたいところですが、毎日毎日決まりきった同じメンバーで、それが楽しければいいですよ。それがうまく回っていないときには、朝が非常に寂しい、暗い状況です。それに加えて朝の会が10分もあって、じっとして聞いているだけの時間になってしまうと、だんだん心を病んでいるなというふうに感じています。本人も気づいていないんですよ。先生たちも気づいていないんです。でも、見ていると、間違いなくそこだと思います。

帰りの会のときはもういいですよ。1日が終わって、もうだんだんにぎやかになっていくし、これはもうすぐ終わりだからということで、子供たちも表情が物すごく柔らかいです。朝がやっぱり課題なんです。私は、朝はにぎやかにスタートしたい。昔の部活が始まった、部活をやっているぐらいのところのにぎやかさまで登校したら出したいんです。少し荒れているぐらいのほうがいいと思うんです。そんなことをイメージすると、こういう日課にしたいと思う

し、不登校をなくしたい。にぎやかなことで不登校をなくしたいという意見です。以上です。

委 員

期待しております。

部会長

ありがとうございます。

委 員

あとフリータイムのことですけれどね。フリータイムと言っているけど、これ結局自由時間ですよ。日課は、全員がそろって何かをするという一つの目標があって時間を区切ってやることなのに、8時15分までフリータイムといったところで、別に書く必要も何もない。学級として何かやるんですか。

事務局

先ほどの開門のところでもそうなんですけれど、日課としては朝の会から始まるんですけれども、やはり生徒たちと、例えばこの開門時間7時50分だからということとか、共通理解ですとか、そこまでの時間はこういう時間だよということを互いに共通理解するという意味で入れておりますけれども、先生が言われるとおり日課そのものとしては、朝の会のところからが、さっきも申しましたけれども、欠席になるかならないかは8時15分がラインですので、このところからが日課ではありますけれども、日課表の中には、今、こういったところも入れているというふうな学校等もありますので、そのように入れているところですよ。

委 員

それぞれが自由、勝手に外へ遊びに行ってもいいし、読書しててもいいし。

部会長

これ、外へ遊びに行くとか体育館で遊ぶというのはなしです。

委 員

なし。

部会長

このフリータイムには、ある程度制限があって、基本的には、まず今日1日がスタートできるように準備を整える。自分のこの勉強道具でとか、身だしなみを整えたりとか、カバンを整理したりとかね。まずそこは第一優先でやっておいた上に、読書をするとか、それから委員会ごとにちょっと集まって、朝伝えにやあかんことを連絡し合うとか、読書をやりたい子は読書をしとってもいいです。勉強をちょっとしておきたい人は勉強しとってもいいので、それぐらいの中から選んでフリータイムということですよ。

にぎやかにとさっき言いましたので、それは、話、しゃべれる子にしたいんですよ。会話ができる子。もっと先へ行けば、英語、外国の方とも話ができるようなところを大きな目標になるといいなと願っておるので、できるだけ多くの人と交流するのはいいことですよということを訴えて、フリータイムというふうに名づけておくといいなというふうに考えております。いかがでしょうか。

委 員

今のそのフリータイムと朝の会までの話なんですけど、これが、そもそもがバスに乗ってくる子の生徒が限定の話で、別に山岡の歩いてくる子たちは、別に8時15分までに、通学というか、学校の中に入ればいいわけだもんで、そこもちょっと説明したほうがいいんじゃないですかねというのは思います。

なので、バスの生徒たちが一応7時50分までに到着する予定なんですけど、一応そのバスの時間がばらばらになるから、8時15分まで到着がばらつきますので、そのときの時間をどう使うかは自由ですよというような意見、意味合いのフリータイムだと思っているんですけど、それぐらいの感じで説明しない

と、多分きちっとフリータイムですと言われても、多分分らないです。それで、やっぱり歩いてくる子には別に関係ない時間なので、そこはやっぱり説明したほうがいいのかなと思います。

委 員 そうフリータイムと銘打ってやるほどの時間じゃないように思うんだけど、朝の準備をするちゅうことでしょう。

部会長 簡単に言うとそういうことですね。

委 員 宿題をやっていない子は宿題をやったり、フリータイムと言って何か仰々しくやる時間じゃなくて、自由時間ちゅうか個人の時間ちゅうことだよな。日課にわざわざフリータイムなんて入れる学校はあるかな。今の話ね、山岡の子は関係ないんだからさ。全員に関係ない。

部会長 これ、開門時間が7時50分ってあるんですけど、この時間までは門が開いていないわけです。だから門が開いたときから、もう学校はスタートしたよと。ここから8時15分までに、みんなは自分で選んで、自由に自分のためになる活動、いいなと思う活動をしていきましょうよという意味合いを強調したかったということなんですね。

これまで部活があった頃というのは、ないんですよ、こんなの。もう本当は8時何分ぐらいには開けにゃいかんところが、子供たちも部活したいから、もう7時半ぐらいに開けちゃいますよね。もう下手するともっと早く開けちゃいますね。だからスタートが、だから曖昧なままがちゃがちゃとスタートしていたのを、もうそういう時代じゃないです。もう子供たちが早く来たから、じゃあ開けてあげようかなんていうことは絶対にしません。7時50分からしか開けませんので、そこから1日が、さあスタートしました、はい、フリータイム、ここからがスタートですよという感じで、ざわざわとにぎやかに何かやってあげるといいなと。

これは、なぜそうしたかという、教員もなんですよ。教員も7時50分には、担任は教室におり、ほかの先生たちは廊下にいたり、いつも先生たちが目の届くところ、先生たちも一緒にしゃべれるところ、そういうところで、全校が一斉ににぎやかな時間をみんなで作っていきましょう、スタートしましょうという意味で、フリータイムとあえてつけさせてもらいたいなというふうに考えました。本当は教員の勤務時間はこれよりちょっと後です。ほかの学校は、今、8時15分とか、うちの学校は、今は8時10分から4時——16時40分までという時間になっているんですけど、バスが早く来る以上、8時からバスが帰る16時半までという時間を職員の勤務時間にしましょうと。だからこの7時50分は勤務時間より前です。前ですが、子供たちとやっぱり1日をいいスタートにするために、絶対に先生はそこにもういなくちゃいけませんよと。子供たちだけの勝手な時間は、フリータイムが恐怖の時間になる可能性があります。よくない時間になる可能性もあるので、ここは教員が早く勤務してもらいたいなと。教員にはちょっと余分に手当がついているので、このいわゆる時間は、いい関係になるといいなと思っています。私は。

委 員 もう一つだけ、じゃあ。恵南タイムのこともさっき先生は言われましたけど、

併せて4ページに書いてあるように、「帰りの会の前に仮称の恵南タイムを設け、生徒の状況に応じた取組を柔軟に取り入れられる時間にする」と書いてありますけど、この時間が、例えば自分が担任だったら、何していいのかよく分からないんですけど、何をやる時間なんですかね。

事務局 繰り返しになります。何をやるということは、固定をしている時間ではないんですけども、学級ができた頃は、やっぱりそういったところでお互いを知るような話合いの時間を多く入れたりとすとか、学級づくりの時期にはそういった話合いの時間を持ちたいというようなことであつたりとすとか、そういうのがないときには、取りあえず好きにおしゃべりしてもいいよという日も出てくるかもしれませんが、そういった本当にいろんな使い方ができる時間ということで想定をしておりますけれども。

委 員 これ、学級ごとに決めるんですか。中身は。

事務局 基本は学級ごとですけれども、時には、学年でそろえてというような中身でいきたい時期とかもあると思いますけれども、学年でそろえなければいけない時間とか、全校でそろえなければいけない時間というふうには捉えていないです。

委 員 では、学級によっては、全く自由時間でも構わないと。

事務局 そういうふうになる日もあるし、自由時間といいますか、仲間とやっぱり語らう時間ですよ。何でも好きに遊んでいいよという時間じゃないんですけども。

部会長 だから、これをよく見ると、掃除から帰りの会までって10分しかないですよ。だから普通の学校では、ただの移動時間なり、ただの休憩なんです。掃除が終わって教室に戻ってきて、さあ、帰りの会を始めようかというまでの10分間ですよ、これ。なので、ただの休憩と言えば休憩なんですけど、あえてそこにこういうふうな名称をつけると、休憩なんだけれども、何か自分で考えて、今日はもっとしゃべってみようとか、そういう意識になるかなという気はしますけど。

委 員 休憩時間なんですね。

部会長 休憩時間ですよ。そうですね、はい。

委 員 じゃあ、わざわざ恵南タイムとか、何かすごい名前をつけるのに、休憩時間ということは、日課表に入れなくてもいいんじゃないですか。休み時間なら。

部会長 休み時間と言えば休み時間ですよ。ただ、これ、日課ももう頭が8時15分から終わりが、下校の16時半までしか絶対ないので、その中でいろいろなことをさせようと、意識させようとすると、その僅かな休憩時間も、あえて休憩としちゃわずに、ちょっと名称を入れたほうが、ちょっとの時間でも意識が変わるんじゃないかなという気はするんですね。

事務局 できるだけ仲間同士がこう関わり合ったりとか、みんなで話をしようよというような意識をちょっとでも持てるようにということで、恵南タイムを、あえて位置づけながら過ごしてスタートしてもらいたいという日課案になっております。

委 員 子供がそうやって、つながり合ったり話し合ったりする子供をつくりたいとい

うのはよく分かるんですけど、さあ、これから恵南タイムだよ、自由におしゃべりしていいよ、どうぞなんて、そんなふうにして子供たちはしゃべりださないですよ。活動があつて、半ば、ある程度、場とかいろいろ設定されて話し合つて、今度の運動会をどうしようかねとか、そういうことで話合いが進んでいくんであつて、さあ、これからお話タイムですよ、おしゃべりタイムですよ、恵南タイムですよ、自由に話し合ってくださいねと言つたつて、一人ぼっちの子供は入っていけないですよ。

特に5つの学校から来たときに、さあ、自由時間ですから、恵南タイムですから、自由に話していい時間ですよと言つたつて、子供たちは牽制しているだけで、何かそこに活動があつたり、同じ目標みたいなのがあつて関わり合いができるのであつて、話合いを目的とした時間なんていう話合いというのは、子供たちは絶対にぎやかにならないですよ。

部会長 ただ、休憩の雑談でいいんですよ。休憩でいいんです。休憩でいいんですよ。

委 員 なら、休憩時間なら休憩時間でいいけど。

委 員 はい、休憩時間でいいですよ。

委 員 そこで何を活動するかは、集まったスタッフで有意義に使つたり、子供たちも発想を持っているので、この時間は、例えば委員会で活動として使つていい時間であるというふうに捉えて、合唱を委員会の子たちがキャンペーンで毎週水曜日は合唱の練習をしましょうとか、各学級で交流をしましょうとかというふうに使い始めたりできると思うので、時間を設定していくことに意味があるわけであつて、中身はこれから子供たちと職員が一緒に考えていける、そういう一つ箱があるというふうに思つて捉えておけばいいんじゃないでしょうか。

委 員 でも、そういう考えでしたら、後藤校長とは違いますよね。後藤校長は休憩時間やと言っているのに、片桐校長はそうじゃないよと言つて、粹くがあつて。

委 員 せっかくこうやってあるとするのなら、子供たちもこの時間を使えるというふうに考えてくれるとうれしいなと。そういうところが主体性が発揮される場所じゃないかなというふうに思つて。うちの学校でいうと、帰りの会が始まる前に班会議をしながら、1日のまとめの会議を班の班長を中心に行っている時間があったり、学年があったりしますし、毎週水曜日になると合唱交流をしている時間になっているので、今日日課でいくと、そういう何かをしていい時間がないので、一応何かをしていい時間として置いておくといいんじゃないかなと。そうすると、何も無い日は職員も考えなきゃいけないので、ただ、10分しかないもので、それも掃除が終わってから。がちがちにその10分間使える時間ではないので、はい。僕の中のイメージで、僕だったら何かなと思つたら、多分掃除から戻つてきて、何分かしたら帰りの会の何分か前に合唱の練習をして、それが終わったら帰りの会というようなイメージかなという自分なら思いますけど。

委 員 恵南地区を見たときに、すごく初任者が多いですよ。どんどん初任の方が入つてみえてね。今、言われた、片桐校長先生が言われたようなことは、ある程度ベテランの人ならできますけど、初任の先生が担任を持ったときに、この1

- 0分間の時間を自分の頭で考えてつくり出させて言われても、ある程度カリキュラムとかやることが決まっていなかったら、大学を出たばっかの初任の子が、おいそれとこの時間を有効に1年間使っていけるとは思われないんですけどね。
- 委員 それが、ありがたいことなんですけど、学年が4クラス、3クラスなんですので、そこには必ず主任がいて、中堅どころがいて、若い子たちがいて、大体中学校は横並びで活動と一緒に考えているので、学年会をしながらどんな活動をしていくかということを、横で連携をしながら活動できるいい時間かなと、ちょっと自分の中では思っています。
- 委員 それはとても大事でね、やっぱり複数学級になるので、子供たちも学年ということで、4学級あるから自分の学級を意識してね、学級対抗で集団を意識するとか、そういうことを計画的にはやってほしいんですが、ただ、さっきからのお話を聞いていると、そんなふうには、ちょっと校長先生方の間でも認識がずれているんじゃないかなと思うんですけど。この時間が、恵南タイムとか。いっそのこと帰りの会にしておいて、帰りの会を充実させるちゅうことで学年活動を入れたりいろいろすれば分かりやすいですけど、その学級ごとに決めるとか、担任が決めるとか、子供たちが自由に内容を決めるというのは、すごく若い先生にとっては負担だと思いますよね。
- 事務局 若い先生が1人でやらなければならないということで先ほどお伝えしたのではなくて、全部がその学校で、ある学年で単位でそろえている時間ではないという使い方ができるという意味ですので、先ほど片桐校長から話があったように、横のところで、あと何人クラス、そういうふうにやるんだったら順風満帆かなというような、そういう意味での学年、クラスと違いみたいなところが、学級単位でというそういう意味の話になります。
- 委員 じゃあ、恵南タイムという時間はどういう時間か、きちんと定義してもらえませんか。ここに書いてある、4ページで書いてあるように、生徒の状況に応じた取組を柔軟に取り入れられる時間というのが現在の定義ですけど、この定義では、今の話、人によって捉え方が違っていて、みんな生徒の状況に応じた取組を柔軟になんて、そしたら何でもいいというか、一体全体これは何をする時間なのかということ。今、言われた、片桐校長が言われたように定義して、学年で取り組む集団を意識するというような時間なのか。何かそうやってやらないと、この恵南タイムの時間が、極めて曖昧な時間で、逆に言うと、その時間によって学校というのが成り立っているんだけど、こういうはっきりしない時間というのは、疲れるんじゃないか。子供が何していいのか分からない。はい、すみません、いろいろ言いまして。
- 副部長 そのほか、皆さん、どうですか。
- 委員 今のお話、そうなんですけど、まだ変えられるんなら、別に今おっしゃったように、帰りの会と恵南タイムと一緒にしちゃえば、つくり直すことは可能なんですよね。
- 部長 これ、帰りの会を15分というと、帰りの会の15分が負担なんですよ、これ担任が。15分自分で考えを子供たちの面倒を見にやいかんというのが負担に

なって、結局どうなるかという、5分ぐらいで終わって、みんなカバンをしょって、10分間チャイムが鳴るのを待っていると、そういう苦痛の時間になっているのが、今、現状なんです。

委 員 員 ども、帰りの会は別に、まだ部活動、委員会活動があるで、カバンを持って帰るつもりはないですよ。

部会長 カバンを持って移動しますので、カバンを持って部活動の場所まで行ったり、行きたいのところにいく。

委 員 員 片桐校長が言われたように、別に恵南タイムでも、結局先生の負担じゃないですか。

部会長 恵南タイムは、休憩時間もありなので、とにかく子供たちはがちゃがちゃと予定を書いているとか、しゃべったりとかしていても、これは、今、うちのクラスの恵南タイムだから、これでよしとすれば、それで済んでいくんです。ただ、時間が来たら、絶対ここは静かにしましょうで、5分間の帰りの会だけで済むので、それはそっちのほうがやりやすいんじゃないかなと。

委 員 員 個人的には、一緒にしっちゃったほうが分かりやすいです。簡単ですね。

部会長 いいです。一緒にして、教室で10分間はわちゃわちゃしとって、5分だけ、その学級はそういったやり方でやるんなら、それでもいいですけど。

委 員 員 なので、そのクラス——クラスごとというか、によるんですけど、帰りの会が、そのクラスでびしとできちゃえば、じゃあ部活動をやっていいよみたいな取り方もできますし、何かやりたければ、そのクラスがしっかりしていればいいだけのことなんでとは思ったので、それこそ恵南タイムと決めちゃうと、そこそ本本当にやることがないというふうな感じ。

逆に朝のフリータイムに関しては、それこそバスに乗ってきた子たちは、50分に乗ってくるので、背伸びしたいと思うんです。なので、その意味ではフリータイムはいいと思うんですけど、やっぱり恵南タイムというのは、あれからもう一緒にしちゃえばいいなと思うんですよ。

委 員 員 もう一つ。よく分かったことは、現在学校の中で、恵南地区の学校の担任の先生が、帰りの会をきちっと機能させていくことができない、器量がない。もう1日終わったら、じゃあ、今日ね、みんなが成長したことを喜び合おうねとか、今日研究授業だったけど、誰々さんは頑張ったねとか。そういうふうに、1日の活動を喜び合ったりするのができていないんで、じゃあ今日は何もなし、連絡事項なし。終わり。となるんですよ。

そういう現実を認めちゃっては駄目で、だから5分にするとされるけど、1ページを見てもらえますか。こちらの大事にした理由というのを教えてほしいとありますけど、こういうことが願いだったんですよ。「未来をつくる」、「人とつながる」、「地域とあゆむ」、こういう新しい学校をつくろうという。例えば、「未来をつくる」というところで、確かな学力とか豊かな心とかありますよね。こういう理由で、今日1日、みんなどうだったって、勉強で分らんことがどこだったって、復習でもいいから学力定着のために帰りの会で、今日分らんことをみんな教え合いしようじゃないかとか、そんなふうにここ

にあるスローガンとどのように1日の日課が関係しているかということをはらかにしてほしかったんですね。単におしゃべりして癒したいだけじゃなくて。例えば、「地域とあゆむ」というのがあるんですけど、授業の中にあんまり地域のことなんか話題にならないと思うから、昨日、帰りの会に、今日、明智でぎおんまつりがありますよとか、みんなに宣伝したりね。そういうふうに地域との関わりが持てるのって、朝の会と帰りの会だけだと思うんですね。そのところが、充実させる力が先生方になく現実だから、5分でいいよじゃなくて。

部会長 これ、ちょっとそういうのと違います。今日1日よかったねとか、そういう話はするんですよ、担任も。それは5分あればできちゃうんですよ。5分で。その後に15分あるからと言って、そこで何をいろいろ活動しても、結局、誰かがしゃべっているのをみんなが聞く。誰かがしゃべっているのをみんなが聞くになってしまうんです。

子供たちは、今、やっぱり人との関わる時間が少ないです。大人と関わる時間も少ないし、子供と関わる時間も少ない状態でずっと来ているんです。だから、その会で15分も誰かがしゃべっているのを聞くぐらいやったら、わちゃわちゃとしゃべっていたほうが、人とつながるというこの項のところですね。人とつながるという力は圧倒的につくと思うんです。それを長い時間、先生が例えば、子供たちを褒めて15分するとか、係の子がこういう何かしゃべって、それをみんなが聞くとか、それを15分やっちゃうと、もうだんだん嫌になってきちゃうんです。また聞かにゃあかんのかとか。それよりもしゃべりたい、しゃべりたい、のほうが強いので、しゃべる時間、もう口に出す時間をできるだけ学校の中ではたくさん取りたいという意図です。私からは以上です。

委員 学校の先生がそういうふうにおっしゃるならそれで結構ですけど。ただ、一つだけ。そうやって言うとね、仮称で恵南タイムとか書いてあるけど、2点で、1つはさ、中学校名を決めるときに、恵南中学校も出てきたけど、恵那南になったからさ、今さら恵南って、何で恵南かなということを思うし、その中身から、恵南タイムと言ったら、何か恵南のことをみんなで勉強する時間とかさ、そういうふうと思うけど、全然恵南なんか関係あらへんのやね。

部会長 そうですね、はい。

委員 だから、仮称かもしれないけど、恵南タイムは、何か名前と中身が全然一致していないなと思います。

部会長 名前は変えてもいいです。

副部会長 ありがとうございます。整理させていただきますと、基本この日課でよろしいですか。その名称等々については、今後少し検討、恵南タイムという名称も含めて、10月までには、分かりやすいものにしなきゃいけないかなと思いますけど、日課的には、もうこれでよろしいでしょうか、皆さん。

委員 これでいいけど、さっきの話、例えば掃除は毎日やるの。

部会長 やらないです。

委員 それなら、ちゃんと週日課を作ってもらって、これ、1日の日課になっている

けど、週日課という考え方があるでしょう。週のうち、月曜日と水曜日は掃除をやらない日等で10分。特にさっき言ったように、部活動とか委員会があるけど、30分なんだよね、単位が。だから授業でも50分単位だけど、部活動の30分なんて、もう集まって準備体操をして、おしまい。

だから10分でも、一番最後にある放課後時間が延ばせるなら削ってもらい、掃除を、週に1回なら1回とか決めて、10分でも繰り上げてもらいたいし、その恵南タイムと帰りの会の合わせた15分間やらなくても、少なくとも帰りの会として10分にすれば、5分空きますよね。放課後時間があまりにも少ないし、さっき言ったけど、前回のときに出ていなかったんですよ、そこが。新しい学校の部活動に対する方針は、どういうふうにするか教えてほしいって。部活動は全員加入なんですかね。入る入らないは自由にされますか。そういうことにも関係するし、割と30分の時間があまりにも、何か取ってつけただけなので。

部会長 部活動は、今、専門部会のほうで決まっている内容を私が把握しているところで言うと、任意加入ですよ。それで部活の数も、運動部と、それから文化系の部もあった上に、そこに入らないという選択肢もあるでいきましょうと。

さらに、基本的に地域クラブに移行していくので、本格的に活動したい子は、メインはクラブの活動になっていくし、この活動については、何も活動しない子たちは、ここで自分のやりたいことをやれるような時間にしていきたいというようなことだと把握しておりますが、いいですか、それで。

委 員 任意加入。入らなくていい。

部会長 はい。

委 員 部活に対する興味が下がってきてるけど、子供たちから見ると、結構やっぱり部活動は、楽しみにしている活動だと思うんですよ。大きな学校になって、野球ができるよとか、チーム競技ができるよとか、できる限り聞くとところによると、任意加入にすると、ある種の例だけれども、97%くらいは任意加入でも入る。そして、そのうちの半分くらいは、土日のクラブ活動に入る。半分くらいは、もう平日の部活のみというふうになるそうです。なるというか、そういうことがあるようですが、ある程度部活動も、さっきからくどいですが、時間を取って、少なくとも1コマぐらい、50分、1授業時間ぐらいあると、やったなって気がするんじゃないかなと思うので、そういう時間を練り出すために、少なくともその恵南タイム、掃除の時間は見直しをしてほしいなと思います。

部会長 そうですね、掃除の時間をそのためにこちらに持ってきたんで、カットして、部活の時間をここでたくさん取れるようにということですよ。

これ週に、曜日が決めれないところが、今のこの時代、いろんな行事が入ってくるので、何曜日が部活、何曜日が部活じゃないとか決めれない、決めてないですよ、あんまり。

なので、週に掃除が2回、2回もあるかどうかですよ。2回ないし3回というような、最大でも3回、2回でよろしいかと思いませんか、どうでしょうか。

委 員 そもそも僕が説明を、お話を皆さんにしたので、理解はしているんですけど、掃除っていうのは、そもそも新しい校舎になったのに、ぴかぴかじゃないですか。だから、毎日やる必要がないんです。なので、汚れたとしても多分毎日使うトイレぐらい。なので、おいおい長い目で見て掃除というのはつけないと、いずれしなきゃいけないから、やっぱり時間として入れなきゃいけない。ただ、新しい校舎なんで、そんな毎日やる必要はないんだけど、長い年数たってくると、3年、5年、10年たったときには、絶対その時間を入れとかなないとよくないんで、やっぱり入れなきゃいけない。

だから、新校舎のときに、掃除って書いてあるんですけど、やることはないんですね。なので、そこら辺も説明してもらったほうがいいかなと。一応今回、掃除って時間がありますけど、新校舎なんで、そもそもきれいです。年に何回か業者も入るんで、それまで子供たちで一生懸命やることはないと思いますが、一応、時間としてここに書いてますということで説明したほうが、一発で10月にオーケーもらえるのかなと。

事務局 基本案ということで、掃除が入るとすれば、こういうことになっておりますので、今、お話があったように、部活がある日については、例えば掃除をなくして、カットするとか、でも、それが毎日部活があるんだったら、毎日掃除なしかとするわけにはいかないの、週というよりは、これを基本として臨機応変に学校ごとの部活に行ける日等に応じて、これをベースにしてつくっていったらという、そういう考えでいければと思います。

委 員 それで基本は分かりますけど、教育事務部会の案として総会にかけますから、今言われたようなことをちゃんと改正してもらって、いつも、こうやって話し合ったと、はい、じゃあ基本的にこの案でいきますよって、これで通っていったらうんだよね。何のために話し合ったのかっていう。最終的にこれが総会へ行くんだけど、きちんとどこを修正するのか、これを基本、基本と言われますけど、直す気はあるんですかね。

事務局 先ほどの話、ここに出ているところとしてはこれなんですけども、その下の附則のところは今言ったような形で、掃除の時間等については、放課後の部活動が充実するように取り入れない日もあるというような、そういった文言をつけるというようなことにして、説明のときにもさらにそういうところを詳しく説明するという形で進めていければと思います。

先ほども話が出ましたが、何曜日がこの日課というふうにして切るというのは、なかなかそこは今、現状的に難しいと思いますので、そういった仕方ではどうでしょうか。

委 員 だったら、掃除のある日とない日ぐらいの2パターンとか、そういうような表し方で、週の日課でこういうパターンとこういうパターンの日があるよぐらいにはならないですか。そんな月水金とかきちんと決めんでもいいんですけど、さっきから皆さん言っているように、ぴかぴかの校舎だったら、そこまで掃除は、どうしても日本の教育でいうと、掃除自体がしつけというようなイメージで来ると思うんですけど、やっぱり外国じゃあ業者は掃除するんだけど、そんな

生徒は掃除なんかアメリカでもしませんからね。ですから、やっぱりそういう古い考え方は、古い校舎にはそれ相当大事にしていく、校舎を大事にしていくというパターンは必要かと思うんですけど、やっぱりそういう新校舎で、そういうメリットがあるんだったら、その分を生徒が、さっきの話から出とるような、小学校のクラブみたいにやりたい活動ができるというようなパターンにも対応できるよと、それがこういう学校統合のメリットを生かした学校運営だよというような形でいけたらどうですかね。

さっきから〇〇先生が言ってみえるけど、幾ら言っても、何かこれが基本だからって言っちゃうと、どこがどういうふうに、そういう新しい学校の新しい考え方で学校運営していこうかというような学校側の、いや、教育委員会側の考え方が皆さんにきちんと伝えられるようなふうで、10月に発表してもらえるといいかなと思います。

委 員 2ページ見てもらいたいですけどね、2ページ。2ページに前回までの協議内容についてというところがあって、その下の段の16番で教育課程等、教育内容に関することっていうのがありますよね。そして、協議事項の中の③は先ほど話がありましたけど、日課表案の策定だから、来年の4月に、恵那南中学校の教室の前に張り出す日課表案をきちんと策定しないかんのです。それを張り出すというふうに考えていいですか。子供たちの前に張り出す日課表案は、それを張り出そうとしてみえるんですか。ぐだぐだ言っているけど、最終的には日課表案、教室の前に張り出す日課表案を決定するのはこの会の仕事なんですよ。だから、基本でこれを張り出されるということですか。

事務局 そうです。

委 員 仮称も変えずにね。

事務局 そういうところは決めていきますけれども、今日いただいた意見等も含めて、やっぱり伝わりにくさみたいなどころがありますので、ここのところは自分たちが非常にここの名前、どういう名前をつけるかすごく悩んだので、それで仮にしているんですけれども、そういったところについて、今日こういったご意見をいただきましたので、そういった伝わりにくさみたいなども解消できるような名前にしていきたいというところだと思います。

委 員 どういう名前にするか言ってもらわないと、賛成できないですよ。

部会長 どうですか。これ、先ほど皆さん、最初の時間はフリータイムでもいいんじゃないかということに聞こえたので、そのままフリータイム、後ろの恵南という言い方がある。恵北と恵南というようなイメージになるので、これはもう恵那南タイムなんかどうでしょう。そして……。

委 員 恵那南タイムっていうほどの中身がないって言っているんです、さっきから。何で恵那南タイムなのに、やっていることは自由におしゃべりしてって。恵那南タイムっていったら、恵那南中学校の独特のことをやらなさ、恵那南タイムの中身は何ですかって、おしゃべりの時間です、休憩時間でしょう。それ、おかしい、子供に対して。

委 員 それじゃあ、先生、フリータイム1、2でいいんじゃない。

- 委員 フリータイムの１、２。
- 委員 柔軟性のあるクッションの時間って先生おっしゃられた。フリータイムだによって、いいと思います。
- 委員 どっちもフリータイムという形。
- 委員 私、お話聞いているとそれでいいのかなって。だったら、柔軟に、季節とか何か行事があったり、いろいろあると思うんで、そのクッションの時間ということですよ。なので、もし名称でこだわって議論するのであれば、フリータイムとしといて、また新しい先生方に決めてもらうぐらいで、ここはそれでいいのかなと。新しい学校なので、ある程度今までの考えはちょっと置いといて、新しい考えでいこうぜというふうに、ここは行ったほうが、新しい学校はいいんじゃないかと。
- 委員 教室ごとで決めていただいたりとか、それもいいんじゃないですか。
- 委員 全然いいと思います。
- 委員 ３年１組は、例えば友達タイムにしようとかでもいいだろうし、その辺は分かんないですけど、これ、ずっとお掃除の時間と今の恵南タイムや帰りの会って、学校生活の中で、僕もあったんですけど、学校内でいじめがあったりとか、何かいろいろ問題が起きたときに、多分５分、１０分の話合いでは解決しないので、この時間を使ってみんなで語らうとか、話し合う時間になるんじゃないかと思うので、そのタイムというか、自由に使える時間として取ってあるのは問題ないかなと思います。僕もフリータイムでもいいかなと思います。
- 副部長 そのほか、皆さん何かアイデアがあれば。
- 委員 日課表については、うちの学校が、今、□□先生が話されたのと全く同じ形で、部活動がある日は掃除をカットしています。なので、掃除をカットする日課と、掃除のある日課と、あと５時間の日なら、週に１日、会議の日があるので、５時間の日と３パターンを掲示しています。なので、その３パターンをつくっておく必要があったなと思うので、今の考え方を基に、部活動のある日、掃除なしで部活動のある日、掃除がある日、それから５時間の日、この３つをつくっていけば、およそ１週間、それが何曜日かは分かりませんが、固定できる曜日もあると思いますが、そういう形で回していけば、できることなのかなと思います。
- 事務局 ありがとうございます。基本、ここで６時間のところをカットして、その後上に詰めた５時間ある日課と、こここのところをカットして、ここが長くなった、掃除なしの３日の３種類ということですね。
- 委員 でも、バスの時間が決まっていると、５時間で会議の日というのはつくれないということですね。
- 事務局 でも、１便ですので、その１便の時間が早くなるというふうに、例えば１週間に１回そういう日があるとかは可能ということですね。
- 事務局 はい、１日２便出すのが時間的に難しい。
- 委員 全校が５時間で帰っていくということはできるということですね。
- 副部長 では、まずパターンについては、３パターンをきちんと表にしてつくっていた

だくということと、名称については、今、フリータイム１、２という案はどうかという話もありましたが、そこについてはどうでしょう、恵那南タイムよりもフリータイムというふうにして設定しておくほうがより柔軟性があるということで意見が出ましたが、それでまずは案を３パターンつくっていただくということによろしいでしょうか。いいですか。

委 員 名称はそれでいいですけど、さっき話しましたように、これはどういう時間かということをお子にも分かるような言葉で、フリータイムといってもフリーじゃないんでしょう。外の遊びに行っちゃいけないし、遊び回っちゃ駄目なんだから、廊下で。

部会長 廊下はいいです。

委 員 廊下はいい。

部会長 廊下はいいです。体育館や外で。

委 員 フリータイムって、子供が先生にフリータイムってあるのに、全然フリーじゃないじゃないですかって言ったら、先生どうやって答えるんですか。やっちゃいけないこともあるんですよ、子供たちが、フリータイムとは言いつつ。そのところちゃんと子供たちに話しかないと、子供たちも混乱するんじゃない。自由時間だと思っちゃってさ。例えば隣の学級に入っていったりしてもいいわけ。

部会長 隣の学級に入るとするのは、基本的にはダメ。

部会長 フリータイムじゃなくてもダメです。

委 員 じゃあ、フリータイムはどういう時間ですかということをお子にも、中学生にも分かるようにやって、フリータイムの時間はこういう趣旨ですから、できる限り有効に使って、１日のスタートと１日の終わりを、自分の中で目当てを立てたり、振り返ったりする時間にしましょうとか、準備をして授業に正しく臨む時間ですから有効に使いましょうとか、何かそういうふうに教育的に価値づけていかないと、時間だけつくったって、子供はそんなふうにはならないです。定義をお願いします。

委 員 例えばそういうのも、こんな選択肢があるよというのも、先生方が話し合ってもらって、問題解決でみんなでお話し合うときは、クラスでの話し合う時間が、出していただくと、子供たちも、ああ、今日はこれに使おうと、それでクラスで話し合えるとか。ドンとやっちゃ駄目って言うと、子供たちそっちに行っちゃうんです。こんなことやろうねみたいなサジェスチョン出してあげるとそっちを選ぶ。前向きに選ぶというか、だから、そういうのを、例えばですね、いろんな意味で定義できると思います。

委 員 いいですね。

副部会長 どうでしょうか、定義、どう定義するかというところですけど。

部会長 いいですか。もともと校長部会で作ったところには、ここにもちゃんと書いてあったんですよ。授業の準備をする、まず。それから、準備ができたら、読書をする。そういった、友達としゃべってもよし。それから、委員会活動をして、朝の会のときに話ができるようにするのもよしと、だから、その中からや

りましょうというふうにもともと書いてあるんですよ、そうやって。そうなんです。読書なら読書って決めちゃうと、しーんと読書になっちゃうんです。今は個別最適な学びのときなんですよ。自分でこの時間を何をしたらいいかって考えられる子になってほしいんですよ。だから、書いていんですよ。そういうことなんですよ。それを書いてもらえばいいかなと思います。

だから、わーっと決めちゃって、この時間だ、この時間だ、この時間じゃないですよ。この中から、自分の最適なものを考えてやっていきましょうよと。8時15分までだったらできるでしょう、いろいろ。外に遊びに行くわけじゃないですか。何で外に遊びに行くの、15分しか時間ないのに。どうですか、そんなふうに書いてっていうのは。今言いたいことは……。

事務局 準備であったりとか、読書であったりとか、委員会の仕事であったりとか、うちの学級の実組であったりとか、そういったものの中から適切なものを自分で考えていくということですよね。そういう意味での選択ができるというふうに、全くの自由という意味ではないんですよ、ということを伝えていくということです。

部会長 先ほど言いましたでしょう。昔は部活から始まりだったのが、今は部活ないから、お通夜のような朝になるよりも、こういう時間を取ってあげて、しゃべるなら大いにしゃべっていいよ、しゃべってるねと、しゃべってることを褒めてあげましょうよと。人とつながるということはあるんですよ。つながる子になろうとしたときに、いいことだねと言って。情緒が不安定な人が…。

委員 ちょっと感情的になり過ぎているところがあるんですけど、それを共通して、まず先生の中で、校長先生の中でそれを統一してもらって、それをまた、こっちに発表してもらえれば、感情的になり過ぎちゃうと…。

部会長 すいませんでした、申し訳ないです。ただ、sonだけ、今の子供たちにとっては、やっぱりこういう時間が必要だと思っていたんです。このフリーになっている時間、あまりにも静かに学び過ぎている。静かに一日終わり過ぎているということです。

委員 いいと思います。それぐらいの熱があるなら、それぐらいでガーンと言ってもらえればいいですよ。熱意はすごいと思います。

副部会長 そうすると、次回のときには、それか書いてある資料を提示するという、組んで事務局のほうで準備していただいて出すと。

事務局 3パターンと、フリータイム定義を文字で示して、20日の日に最終確認をしていただく。

部会長 それは、文字で書くものは確認しましたよ。それで終わっちゃったみたいになるんで、みんな、どうなのかなってなるんで。

事務局 20日の日に確認して、総会に向かうという。

部会長 今確認したらどうですか。だから、さっき定義はどうですかって言われたので、授業の準備をすることと、1日の準備をまずすること。それから読書ができる子は読書、仲間としゃべる子は仲間としゃべる。それから委員会の準備を、打合わせとかする子は委員会の打合わせをする。

委 員 例えば、せっかく校長会でお話をされたように、この会も13回目なので、こうやって議論して、〇〇先生がおっしゃったように、こんな議論があったけどこうなったよっていうプロセスがなくて、ひょんと、私ずっと3年やってると分かるんですけど、なくて、今回これになった、何なのってなっちゃって、疑問符だけです。10月に発表されるのであれば、これだけの時間と熱意と議論に時間を重ねたんだよ、でこうなりましたみたいなものを何か、プロセスアンドこういう議論があって、ここにこういった観点があってこう決まりましたっていうのがあると、一般のPTAの方々も納得されるんじゃないかなと思うんですけど、いつもプロセスが抜けちゃってぽんとなるんで、部活もそうだし。

副部長 学校説明のときも。

委 員 例えばです、思ったこと、感想です感想。提案じゃなくて感想です。のほうで、一般の部会の方とかも分かるんじゃないかなと。（発言する者あり）そういうのをちょっと私、せっかくの時間が何かそこでとひょんと飛んじゃうので、前回どうだったこうだったって、また戻っちゃう。そういうのもったいないし、思いはみんな一緒なので、いい学校を創りたいという。

委 員 そのことを言ったんですけど、前回もそういう意見が出て、いろいろ意見が出るんだけど、最終的に、これを基本にやりますよと言って、はいって採決して通って行っちゃうんだけど、議事録が残っているんですよ。自分たちでやってないで、業者に出しているだけだけど、前回の議事録が出ていないんですよ。だから、そんだけの議事録をちゃんと事務局として読んでもらって、どういうことが問題になったか、何を深めればいいのかということを、前回は準備タイムでいろいろともめたじゃないですか。今日もまた同じようなことをやっているんですよ、あんまり進んでなくて。前回は準備タイムという名前が出てきて、それついてああやこうや言っていた。また同じことをやっているから、3回目終わって4回目に入っちゃうんだけど、きちんと議事録をまとめてもらって、〇〇からぶちぶち言ったことも書いてもらって、そういう中でこういうふうな道を探していくっていうふうにしないと、みんな忙しい中で集まっているのにさ、何かもどかしいっていうか、結局4回目に入るわけでしょう、日課表で。令和7年度の4月に学級の前にある日課表をきちんとこの会の名前において決めればいいのに、そのことに結びついていけないので、ああやこうや言って。これ、本当3月までに決めなくちゃいけないんですよ。

この辺は事務局はどうやって考えてみえるんですかね。さっき話ありましたが、3月までにもう決めて、今頃はもう何もしないでいいわけだけど、今7月だけど、みんな忙しい中で集まっているのに、なかなかうんたらしとるっていうか、スピード感が足らんと思いますけど。

部会長 今出たフリータイムの定義のところについて、今、副部長がまとめて言いましたが、このような定義でいかがでしょうか。学校生活の準備、読書、仲間と話す、委員会（ ）の中から選んで活用する時間。そこに込められた願いっていうのは、仲間との仲を深めましょうという願いを込めていますということについてお伝えするということで。

事務局 フリーという名称が、ちょっと自由というのが、させられるということであれば、これ、セレクトタイムだとか、チョイスタ임だとか、そういった名称、これも仮称になるんですけども、そういった名称のほうがより適しているということであれば、そういったこともいいかなと。アイデアの部分なので、委員さんのほうのご意見をいただいて決めれる部分かなと思います。

副部会長 名称については、フリーでいいですか、それともセレクトという案も出しましたが、どうでしょう。最終的には4月、始まってからの学校でよりいいものがあれば、その名前に決めていただければいいかなとは思いますが、この委員会としては、どちらの名前で提案していくかという、上げていくかところでいくと、今のところフリーで来ていますが、セレクトという意見もありましたし、あるんですが。

委員 セレクト出ちゃうとセレクトですね。

副部会長 セレクトを選ぶしかないなという感じがどうしても出てくるかなというのがありますよね。

ただ、今、定義、きちんと明文化していただいたので、これを見れば中身は見えるかなと思いますので、フリーでも、当面というか、スタートまではこれでいけるかなとは思いますが。

事務局 選んでではなく、考えてもらうということですよね。

副部会長 考えて。

事務局 自分で考えるという。

副部会長 名称的にはフリーでどうでしょうか。いいですか。——では、フリータイムということで、名称は、この委員会では名称をフリータイムということで上げていくということで、定義についてはここに今明文化していただきましたけど、この文言で定義をしていきたいと思いますが、どうでしょう。何か付け加えたい言葉があれば、今、よろしいですか。——じゃあ、すいません課題番号16については、次回には3パターンの日課表を資料として出していただくということと、このことも含めて確認をするということで、次回確認作業になりますが、もう次回は本当に確認になると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

では、課題16についてはこれで、これを基にまた今日決めていただいたのでよろしくお願いします。

では、課題番号17に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。すいません、学校行事に関する事をよろしくお願いします。

事務局 よろしくお願ひします。研修以外の学校行事に関することになりますけれども、まず学校行事で大事にしたいこととして、学級の絆を高めていくということです。

1学期は、以前に検討いただいたように、旅行的行事のほうを恵那南中学校では計画しております。このところで、学級と学年の人間関係の基礎をつくるということを大事にしております。

そして、2学期は体育祭と合唱祭に取り組むことで、学級の力を表現して絆を

高めていく、そういった時期にしていきたいと思います。

そして、3学期は3年生を送る会で、学級と学年の成長を表現し、称え合い、感謝し合うという、そういったことを大事にして、学校行事のほうも計画をしていきたいとして思いました。

そこで、体育大会ですけれども、学級のまとまりを崩さないチーム分けによる縦割りの団で競い合うということで、これまで1学期のときにはどうしてもそういった体育大会ということは難しかったんですけれども、今、複数の学級になるということで、そこを大切にしたい行事にしていきたいと思います。

時期ですけれども、10月中旬の平日ということを考えております。最近ですと、土日開催にしたときには、習い事等で参加できない生徒が増えるというようなことで、狙いからしたときに、なかなかそろそろ人数が少なくなってしまうということも考えられますので、そういったことも含めて、10月中旬の平日ということを考えております。

場所は、学校または山岡B&Gのグラウンドということで、競技エリアだけではなくて、団席や観覧席のスペースを確保できるようにということで場所のほうを選んでいきたいと思います。

学年で学級数がそろわないということで、例えば、3学級、3学級、4学級というような構成になるときもあるかと思いますが、そのときも学級解体というのは行わずに、点数のほうを調整して、各団総合優勝というところは決めていくということで進める形の体育大会にしていきたいと思います。

合唱祭です。合唱祭は、学級、学年のまとまりを基本として表現する合唱祭ということで、こちらは12月初旬の平日で、帰りのことがありますので、午前中開催ということを考えました。どうしても現地解散というようなこととなりますと、下校が午後だと混乱等しますので、学校から下校するというこのために午前中で解散ということをお断りしております。

場所としては、恵那文化センターや明智のかえでホールのようなところを使いまして、音響設備がやっぱり整って、さらに観客席を確保できるという会場で実施をしてはどうかと考えました。

3学期の3年生を送る会ですけれども、学級と学年の成長を表現し、称え合い、感謝し合うということで、2月末の平日を考えております。3年生の卒業や入試への影響が少ない時期ということや、1、2年生の意識を高めていくということから考えたときに、2月末の実施を考えました。

こちらの場所は、恵那南中学校の体育館です。こちらで実施することで、移動時間は必要としないので、短時間でも実施ができるということや、事前の在校生等の会場準備等も行いやすいということで、こちらについては場所を移動せずに、学校の体育館を使うことを考えました。

行事については、説明は以上になります。

副部長 今、行事についての説明、特に宿泊研修以外のところの大きな学校行事についての説明でございました。何かご意見等ありましたらお願いします。

委員 すいません、〇〇です。質問なんですけど、体育大会について、年間行事もカ

レンダーも決まってるみたいですけど、10月中旬の、平日はしょうがないと思うんですけど、中旬の時期についてなんですけど、今、10月とはいえ残暑厳しいわけで、なかなか暑いところの状態で、例えば、時期を考えて、後ろには多分ずらせないと思うんですけど、例えば春の時期だけど、旅行もあるときですけど、ちょっと涼しくないけど、春にやっているという地域もあると思うんです。そういった時期を考えていただくということ、これは意見ですけど、その辺はどうでしょうか。

以上です。

事務局 ありがとうございます。全国的に見ると、春に体育大会を実施しているというところも、まだまだあるんですけども、恵那市内等でいきますと、春に体育大会を実施していたんだけど、秋に戻しつつあるというところが現状で、今、10月以外のところでやっている学校はありません。5月が、以前ですと暑さが結構しのげているというようなこともあったんですけども、今やはり5月が結構暑くなってきているということと、そういった中で、入学したばかりの中学1年生にとってみると、中学生とはいえ、まだまだ夏休み明けと思うと、体力的にはどうしても劣る部分がありますので、そういったところで、5月というところから秋のほうかというところもあります。

それに加えて、宿泊研修等の日程もありますので、行事が重なってしまうと、学級をつくっていくというところが、デメリットになってしまいますので、今回も秋を考えました。

これまでは、9月中に実施する中学校が多かったんですけども、今、話があったように残暑ということもあって、今、10月の体育大会も逆にずれていくというところなんです。

これ以上、もう一週ぐらいは可能性があるかもしれませんが、それ以上遅らせた場合は、今度合唱祭との期間が短くなってきますので、ここもやっぱり生徒たちの意識を考えると、このぐらいの時期ということを考えています。

副部長 よろしいですか。

委員 はい。

副部長 そのほかよろしいですか。

委員 すいません、上矢作なので、大きい学校の体育祭というのがイメージできないですけども、もちろん1日やるんですよ、半日とかじゃなくて。

事務局 今は、1日での、かつてのようにフルでというところについては減っておりますので、半日という。

委員 半日、平日で半日ということは、給食を食べて終わりということですか。食べずに解散するという。

事務局 ただ、子供たちの状況によって、半日で計画するんだけど、とてもその半日だと体力的にえらいというのはありますので、そういったときは給食を食べて、少し午後2時というようなことも考えられますけれども、最初から1日いっぱいというような体育大会というところまでは考えていません。

委員 保護者からの目線として、体育の授業としてやる運動会なので、一応平日で今

やるっていうことなんですけど、1時間目から4時間まで体育の授業っていうイメージなんですか。

委 員 いいですか。提案してもらったんですけど、一つ時期とか場所については、学校経営の責任者である校長が決めていく。ほかのこととの絡みがあるんですね、様々にこの行事だけじゃなくて。ですから、この会で時期とか場所まで決めることについては、やや僭越といいますか、突っ込み過ぎではないかと。

先ほどの決めることについても、2ページですけど、何を決めればいいのかというと、体育大会、合唱祭と、主となる行事の確定ということですから、主にやる行事を、どんな行事をするかということを決めればいいのかとあって、時期をどうするか、場所をどうするかということは、私たちがいろいろ言っても、それぞれに考え方があって、学校全体の経営の中で位置づけることじゃないかなと思うので、ちょっとこれはパスしたほうがいいんじゃないかと考えます。

そして、入れてほしいのは、今言われたように、体育大会とか、私はどんなものか分からないのが、3年生を送る会についてって書いてありますけど、何をやるんですかね、これ、一体全体。学級と学年の成長を表現し、称え合い、感謝し合う会なんですけど、具体的な活動は何をするんですか。

事務局 それこそいろんなことが考えられると思いますけれども、やっぱりそれまで学校中心になって、支えてくれた3年生たちへの感謝の気持ちを伝える。その中で、自分たちがこういうふう to 成長してきたということを確認しながら、そのことも発表していくということが狙いになってくるとは思いますけど、それよりもさらに詳しい中身ということになると、いろんな形があると思いますので、それを想定してないんですけれど。

委 員 具体的な内容としては何をやるんですか。称え合い、感謝し合う会は分かったんですけど、称え合い、感謝することは分かったんですけど、3年生を送る会というのは、1・2年生は何をして、3年生は何をするんですか。いろいろやり方があるところですけど、大体的な内容だけは決めといてもらって、あとのその時期や場所は…。

事務局 今イメージしているのは、各学年、前に立って、1年間の自分たちの成長を呼びかけ、呼びかけの言葉があります。それと合唱なんかのイメージをしております。あとは、1年生から3年生と……、そうですね。一緒に遊べるゲームですか。送る会ですから、何かお楽しみの、1年間の恵那南中クイズをやるとか、そういう2本立てぐらいで今イメージをしておるところです。

委 員 それは山岡中学校のことですか。5つの学校が、3年生送る会をやっているんですか。

委 員 上矢作中学校の3年生送る会という名前、名称は3年生送る会という形でやっていますけど、何をやっているかということ、まず1年間の学級のそれぞれの歩みとか、そういうものを踏まえながら、こんなふうに僕たちは成長しました、そして来年度何年生になったら、こんなふうに頑張っていきたいと思いますというようなことを、学年ごとに発表していきます。そして最後に3年生が、僕たちはこれで卒業します、でも、上矢作中学校、こういうことを大事にしてい

たから、そして私たち、僕たち頑張ってきたから、来年はこういうふうに頑張
ってほしいというようなことを、後輩たちに、卒業式の答辞と送辞とは
ちょっと違う感じで、語りかける話をし、そして、それぞれの、うちは合唱頑
張っているの、1年間の総締め合唱を各学年ですてというような3年生を
送る会の中でやるんですけど、当然時間的には余るんです、50分でそれだけ
やろうと思っても。その後は、やっぱり最後に楽しもうという形で、少し生徒
会のほうが中心になってレクをやったりとかして、楽しい時間を過ごすとい
うような3年生を送る会の形。

委 員 5校ともやっていますか。

委 員 5校ともは、どうでしょうか。

委 員 継承の会という名称でやっています。

委 員 継承。

事務局 活動継承の会、3年生から1・2年生へ。1・2年生は、3年生の先輩たちに
感謝の思いをと、これから頑張っていくというような、そういうようなや
り取りをする、ちょっとした儀式的な会を。

委 員 そうすると、3年生を送る会というのは趣旨が違うよね。継承というんならね。
まあ、いいけど、どんな内容かということを中心に、プログラムといいますか、
それぞれに、合唱祭も学級で大体何曲程度歌うとか、学年合唱でいいとか、何
か内容が伝わるようにしたら、教育部会以外の人も賛成とか言えるんじゃない
かなと思って。

体育大会のとも、さっきの話で、あくまでも位置づけとして体育授業の学習
発表って考えると、個人技も出てくるよね。ハードル走とかそういうのを体育
で勉強してるから、その成果発表となると、体育祭の中でそういうのもやっ
ていくっちゃう方針なのか。それとも、せっかく大きくなったので、集団のよ
さっていいですか、やってるところは学級全員縄跳びとか、大縄飛びとかやっ
ていますよね。35人36脚とか、そういうのを中心にやっていくのか、それ
ともあくまでも体育授業の発表として、準備も入れてやっていくのかっちゃう
ことをちょっと、体育大会の位置づけとして、保護者や地域の願いとして。

事務局 体育大会の狙いとしては、先ほどもあったような学級のまとまりを崩さない、
学級集団の高まりというのを狙っていくところがありますので、個人競技とい
うよりは、学級全体としての種目というところが中心になるという。

委 員 じゃあそれ、明記しておいてもらいたいんですけどね、そういうふうに考えら
れるのであれば、あくまでも集団種目を中心にプログラムを組むということで
しょう。個人技は原則。

事務局 ここのところに内容として、集団競技を、学級・学年種目を中心に行うとい
うような、内容というところを加えるということよろしいですか。

委 員 体育大会の内容というか、どんな体育大会かということで書くといいんじゃない
かと。

事務局 同じように3年生を送る会についても、内容ということで、こんな内容を行う
というようなことを、今、説明があった内容について。

部会長 応援合戦とか、本当に昔ベタでやっていた、私たちは盛り上がった気持ちを、今の新しい子たちにもまず味わわせてあげたいというようなイメージですね。

委 員 応援合戦は、何で。

委 員 応援合戦はとってもいいと思うんです。応援合戦やりましたね、皆さんね。リーダーが前に立って、団が一つになって応援するような、そういうものも種目にイメージして、校長会では一応そういうものをイメージしとるんです。

委 員 そうすると、名称だけの問題ですけど、体育祭と考えるか体育大会と考えるかっていう、体育祭。

部会長 体育祭のほうイメージでは。

委 員 応援合戦もやる。

部会長 はい。体育祭と合唱祭という。

副部会長 どうでしょうか。今、資料のほうでは「体育大会」になっておりますけど、「体育祭」のほうがより内容が伝わるということです、「祭」というふうでどうですか、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

委 員 ということなんですけど、そもそも「体育」という言葉が今絶滅しかけているんです。なので、体育の授業の一環だから体育ということがあるのかもしれないんですけど、今、体育が絶滅しかけていて、スポーツという言葉になっているんです。なので、おいおいもしかしたらスポーツって変えるタイミングが来るかもしれないです。だから、今のうち体育っちゅうのを絶滅させておいたほうがいいのかもしいです。

恵那市の中でも全国体育協会というのがなくなってスポーツ協会、結局世界的に見て体育という言葉があまりイメージがよくないらしいんです。なんで、スポーツっていうのに変わってきちゃっていて、もしかしたらそのうちにそういう話になるかもしれません。

副部会長 ただ、保護者の方がイメージしやすいのは体育祭かなと。要は種目も、集団種目になると大縄があったり32人何脚があったりいろいろあるんですけど、それはスポーツのイメージなのか、何なのかっていうそこらでいくと、取りあえずこちらの都会としては体育祭で上げたいと思いますが、どうですかね。

でも、確かにスポーツという新しい言葉を使うというのも、斬新というか、新しい学校なら出るかなというのは感じますが、そのほかの行事についてはよろしいですかね。行うということで上げていくということで、時期については学校の裁量というか、学校にお任せするという意味で、合唱祭の曲数等々については。

事務局 合唱祭については、内容としては、学校で学級合唱を行うということで。

副部会長 学年合唱1曲、学級合唱1曲というふうにイメージしておけばいいですか。

事務局 イメージとしては、はい。

副部会長 最初が11クラスぐらいでしたかね。

事務局 11クラスです。

副部会長 時間的に1曲ずつしかできない可能性が。

事務局 部会案としては、この時期、場所については削除して、あとはもう学校にお任

せするという案でよろしいですか。

3年生を送る会の内容につきましては、先ほど出た意見をまとめて、1・2年生は3年生に感謝を伝え、3年生は大切にしてほしい願いを伝えるとともに、共に楽しむ時間もつくり上げるというような感じで。

部会長 言葉と合唱で各学年の成長を。

副部会長 では、課題17番、学校行事に関してということについては、体育祭として表現していく。あと合唱祭については、各学級1曲、学年1曲を基本として合唱祭を行う。3年生を送る会について、は言葉と合唱で学級と学年の成長を表現しというふうに文言を少し加え提案していくということではよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、学校行事についてはこのように上げていくということで、よろしく願いいたします。

では、最後になります。課題番号23番、予算計画に関することをよろしく願います。

事務局 よろしく願います。予算計画に関することですけれども、大きく学習費と積立会計ということで、昨年度も途中でお話をさせていただいたことがありますけれども、学習費というのは日常の授業や教育活動に直接関係する支出で、教材費、ワーク、ドリル、資料集などを購入するのに充てています。こちらは個人による購入差が少ないお金ということになっております。

積立会計というのを今行っているんですけれども、将来的なイベントや活動のために、あらかじめ保護者から集めておく費用ということで、修学旅行などの費用や卒業アルバム代などに充てている場合があります。こちらは個人差が生じやすく、余った金額を還元する、卒業するときに返金するというような場合がすごく大きくなる会計です。学校で納める金額を少なくするというので、最近では学校が集めずに、直接業者とやり取りをするというような学校が増えてきているという会計のものになります。

そういった状況を踏まえて、恵那南中学校の令和8年度につきましては、学習費についてはこちらについては集めさせていただくんですけれども、5校の今の教材等の実態を踏まえて、教育の質は落とさずに、できるだけ保護者負担額が小さくなるようなものを計画してほしいということで、進めたいというふうにして思います。

取扱金融機関については、JA山岡支店に依頼して進めたいというふうにして思います。

もう一つ積立会計ですけれども、こちらについては実施をせずに、修学旅行や卒業アルバム代については、業者と直接やり取りをするような形を取っていくということを考えております。そのためにおよその金額を見積りを出していただいて、学校説明会のときなどにお示しをして、各家庭の状況に応じた準備の仕方ができるということでは進めたいというふうにして思っております。

提案、以上になります。

副部会長 ありがとうございます。予算計画に関すること、特に積立に関するのが学校徴収金についてでしたが、何か質問等ございますか。——よろしいでしょうか。

では、このようにして上げていくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

4. 次回の教育活動・学校事務部会について

(1) 開催時期：令和7年8月20日（水）

(2) 会場地区：上矢作コミュニティーセンター講堂多目的ホール

(3) 議題予定：課題番号21：学校図書に關すると、課題番号18：生徒会に關すること

部会長 これをもちまして協議事項3点、全て終わりましたので、最後4、次回の部会についての連絡をお願いします。

事務局 お願いいたします。そうしましたら、次回の部会についてですけれども、日にちのほうですけれども、8月20日の日に行いたいというふうに思っております。

会場は、上矢作地区になります。

議題の予定ですけれども、本日いただいた日課表の確認のところがこれに加わりますけれども、それ以外のところで学校図書に關することということで、9月から図書館のほうの工事が始まっていきますので、そのところのレイアウト等についてこちらのほうで報告をさせていただいて、確認していただくという中身。

あと生徒会に關することというところで、生徒会をどのように決めていくのかというようなことについて、報告のほうをさせていただいて、了承をいただくというような中身をお聞きしております。

以上になります。

部会長 それでは、全ての内容がこれで終了しましたので、第13回の教育活動・学校事務部会のほうを閉じさせていただきます。ありがとうございました。